

平成24年度

宇陀市まちづくり活動応援補助金

成果報告書



宇陀市企画財政部まちづくり支援課

平成25年6月

目 次

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要	1
補助金の額	1
審査・評価の方法	1
審査委員	1
各事業の成果 ※以下事業名（ ）内は実施団体名	
(1) ふるさと創生事業（大野花いっぱい会）	2
(2) 花の里「西谷」プロジェクト（花の里「西谷」プロジェクト）	4
(3) 菅笠あんどん ～こころの旅籠～ （榛原観光ボランティアガイドの会）	6
(4) 弁財天 石楠花の丘（弁財天 石楠花の丘）	8
(5) 宇陀松山華小路 2012（宇陀松山華小路実行委員会）	10
(6) ホタルの夕べ IN 高井 2012（千年大志会）	12
(7) 市民参加まちの資源を考えるモデル事業 （まちの資源を考える会「eco うだ」）	14
(8) 伊勢街道をテーマとした地域活性化事業 （紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会）	16

「宇陀市まちづくり活動応援補助金」の概要

この補助金は、市民が主役のまちづくり並びに地域の個性を生かしたまちづくりを推進し、市の発展に寄与することを目的として、市内で活動する市民団体が自ら企画立案し、実施する事業に要する経費を補助することにより、市民活動の促進を図ろうとするものです。

補助対象事業は公募方式により募集し、第三者機関（宇陀市まちづくり活動応援補助金審査委員会）による厳正な審査を経て決定します。

補助金の額

補助金の額は、補助の対象となる経費の総額から当該事業の実施によって得られる収入を差し引いた額とし、50万円を上限とします。事業が継続して必要と認められる場合は、自立・発展性の観点から2年目は40万円を上限とし、3年目は30万円を上限とします。ただし、算出した額に1,000円未満の端数があるときは、これを切り捨てるものとします。

審査・評価の方法

①一次審査（書類審査）

補助金の対象事業として要件を満たしているか等の審査を行います。

②二次審査（公開プレゼンテーション）

以下の基準に基づき審査し、交付の優先順位を決定します。

新規性	<ul style="list-style-type: none">・事業内容に新しい発想、アイデアがあるか。・自主性をもった企画・運営となっているか。
公益性	<ul style="list-style-type: none">・地域活動支援の目的と合致しているか。・事業の成果が広く地域に還元されるものか。・事業参加の機会が広く住民に与えられているか。・市の施策と方向性が合致しているか。・応募者以外の市民や事業者、団体等に不利益を与えるものではないか。
必要性	<ul style="list-style-type: none">・地域の実情や住民要望に対応したものか。・地域の課題解決、あるいは活力向上に有効なものであるか。・ほかの方法で代替できないものであるか。・経費の使途が適切なものか。
実現性	<ul style="list-style-type: none">・目標（達成すべきこと）が明確なものか。・関係者との合意形成や応募団体等の内部での実施態勢が整っているか。・資金調達の規模や時期に無理はないか。
発展性	<ul style="list-style-type: none">・市の支援が終了した後の継続性や自立性、発展性は期待できるか。

審査委員

氏名	所属・職
濱田 嘉也	宇陀市ボランティア連絡協議会 会長
福角 登	宇陀市産業振興会議 委員長
川本 國昭	公募委員
稗田 睦子	公募委員
上山 幸寛	奈良県くらし創造部協働推進課 課長
前野 孝久	宇陀市副市長

※審査委員会当日（H24.3.25）現在

事業報告書

事業名	ふるさと創生事業
実施団体	大野花いっばいの会
実施状況	<p>過疎化の進む榛原内牧大野垣内に癒しの里を作るために、次の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①芋オーナー事業 ②貸し農園事業 ③内牧川祭り ④芋ほり体験事業 ⑤放棄田畑のお花畑化事業 ⑥山羊牧場づくり など <p>【事業実施の様子】</p>  
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ①畑の有効利用 都会の芋オーナーが参加され、「おいしく安全な芋を食べることができる」と喜んでおられました。 ②放棄田畑のお花畑化 作業は困難でしたが、荒らされていた田畑がきれいになり、今後の更なる花畑化に期待が高まりました。 ③地域住民の交流促進 「内牧川祭り」の実施に際しては、地元から多くの協力が得られ、大変活気のあるイベントになりました。子どもは大喜びで、大人も童心にかえることができ、「来年も是非開催してほしい」との希望が多数ありました。 ※平成25年度も地元有志の会により実施される予定です。
特記事項	改めて、ふるさとを見つめ考える1年となりました。

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
事業収入	41,800	芋オーナー事業 24,300円 内牧川祭り 17,500円
寄付金	45,919	
合 計	587,719	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	15,000	講師謝礼
消耗品費	259,505	事務用品、種芋、肥料、除草剤、マルチ、チップソー、害獣防止柵、金網、アマゴ、山羊 他
印刷製本費	7,858	ポスター印刷代
燃料費	7,659	草刈り機・魚運搬車両ガソリン
食料費	34,457	スタッフ弁当代
委託料	153,000	耕運、湿地田畑整備・土手補修、川への進入路設置
通信運搬費	8,000	内牧川祭り案内葉書
備品購入費	102,240	看板、旗・旗竿
合 計	587,719	

事業実施団体

名称	大野花いっぱいのかい
所在地	宇陀市榛原内牧1669番地
設立の経緯・目的	2003年春、過疎化の進む榛原内牧の谷あいの里「大野」に都会の1グループが田舎暮らしを体験すると称してやってきました。畑を借りて野菜作り、田植え・稲刈り、竹炭焼きなどを楽しみ、市道の法面に桜や銀杏の苗木を植え、休耕田に蕎麦や菜の花の種をまいていました。草刈り、盆踊り、秋祭りなどの垣内や自治会行事にも快く協力してくれました。2006年からは毎年障害者の芋ほりやぶどう狩りを実施し、宇陀市の広報にも取り上げて頂きました。そんな中で、大野をもっと活気のある里にしようと「大野花いっぱいのかい」を立ち上げました。
主な活動内容	①ススキの生い茂っていた旧ゲートボール場の法面などに桜やモミジ、レンギョウなどの植樹を行いました。 ②蜂駆除ボランティアの方の創作童話に絵をつけて絵本として完成させ、宇陀市に寄贈しました。 ③芋オーナーを募集し、植え付け・収穫体験などを体験していただきました。 ④日本蜜蜂飼育の手ほどきを受け、保護に努めてきました。 ⑤蕎麦打ち講習会を開き、神社や寺の初詣客に6年間振る舞いました。

事業報告書

事業名	花の里「西谷」プロジェクト
実施団体	花の里「西谷」プロジェクト
実施状況	<p>室生西谷地区を花の咲く里村とするために、次の事業を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①桜苗木（200本）の植樹 ②イベント事業（盆燈会） ③芝桜園の創設 ④会員研修 <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> ①事業を実施するうちに会員以外の方も活動に参加するようになり、地区住民のつながりが強化されました。 ②漫然とした雰囲気の中の人々が明るくなり、地区に活力が蘇ったように感じます。 ③この事業に期待を抱いている方が多くなりました。
特記事項	<p>今後は、この事業を継続して実施していくために団体のNPO法人化を目指し、財源の確保により自主運営のできる体制づくりを進めたいと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	500,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
地域活性化センター補助金	300,000	宝くじ地域振興助成金
事業収入	40,000	灯籠作成者より (1,000円×40個)
寄付金	22,320	
合 計	862,320	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	30,000	講師謝礼
旅費	9,250	通行料
消耗品費①	13,041	事務用品、ローソク、金魚 他
消耗品費②	40,000	灯籠
消耗品費③	300,000	桜苗木
食料費	22,041	スタッフ食事代、会議時お茶代
燃料費	6,739	ガソリン代
原材料費	438,834	杭、金網、有害獣防除柵、丸太、花苗 他
備品購入費	2,415	書籍代
合 計	862,320	

事業実施団体

名称	花の里「西谷」プロジェクト
所在地	宇陀市室生西谷923-2
設立の経緯・目的	<p>室生西谷地区は、嘉吉2年に高貴がこの地に隠遁したのが始まりですが、土地柄耕作地が少なく住民は貧しい生活を余儀なくされてきました。この状況を打開しようと江戸時代終期に稲作を可能にするための行動を住民全員で起こし、灌漑用ため池と水路を整備しました。このことは日本国最初の褒賞（藍綬褒章）1号、2号を当時の指導者に賜る歴史的偉業となりました。</p> <p>しかし、基幹産業である農林業の衰退により人口が減少し、とりわけ働き盛りの人口は皆無に等しく、残った高齢者が先人達が築いたこの歴史ある西谷をかりうじて守っている状況にあります。</p> <p>この地区を人の住む地域として存続させることを長年にわたって思索し、他地区の取組みを参考に模索していましたが、宝くじ地域振興助成制度により桜の苗木を頂戴したことを契機に、当地の先人に習って地区を蘇らせようと本会を設立しました。</p>
主な活動内容	<p>①桜苗木の植樹</p> <p>②植樹した桜の育成</p> <p>③他地域の人達との交流を促進し、協力を得る活動</p> <p>④中山間を生かした産業（観光、物産）の開発</p> <p>⑤高齢化した住民同士の助け合い活動</p>

事業報告書

事業名	菅笠あんどん ～こころの旅籠～
実施団体	榛原観光ボランティアガイドの会
実施状況	<p>①宇陀市指定文化財となった伊勢街道萩原宿の旧旅籠「あぶらや」の良さをPRし、周辺をライトアップしました。</p> <p>②三重県の団体から寄贈を受けた「あんどん」を灯し、訪れた方に紹介しました。</p> <p>③琴の演奏、能や日本舞踊を演じ、宿場町として賑わっていた頃の雰囲気を現代に再現しました。</p> <p>④本居宣長が宿泊したとされる伝承にちなんで、菅笠日記の朗読と解説を行いました。</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>①「あぶらや」の存在は知っていても建物内部や伊勢街道のことを知らない方に対して、気軽に親しまれる文化財として周知することができました。</p> <p>②周辺住民と協力してイベントを開催したことにより、地元とのつながりが強化されました。</p>
特記事項	<p>住民が手づくりでイベントを開催することを心がけてボランティアを募ったり、地元と協力しながら小規模でも心温まるイベントを開催することができました。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	34,455	宇陀市まちづくり活動応援補助金
自己資金	48	榛原観光ボランティアガイドの会
合 計	34,503	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	29,400	出演者謝礼
消耗品費	5,103	チラシ用カラーペーパー あんどん用ラミネートフィルム 文房具（ピン・テープ）等
合 計	34,503	

事業実施団体

名称	榛原観光ボランティアガイドの会
所在地	宇陀市榛原下井足17-3
設立の経緯・目的	平成16年1月に榛原観光協会がボランティアガイドを募集したところ22名が登録し、研修会を重ねながら観光協会の下部組織として発足しました。しかし、観光協会主催の研修が終了し、ガイド依頼もあまり無い状態が続いたため、会員が7名に減少しました。その後は残ったメンバーで県の連絡会に参加して自分達でイベントコースを企画し、100名規模のガイドも経験しました。平成20年からは会費を集めて自主運営を開始し、会員を増やすための研修を開催したり、イベント等で積極的にガイド活動を行っています。
主な活動内容	①「あぶらや」周辺の伊勢街道周遊 ②近畿日本鉄道主催の伊勢街道ツアーでのガイド ③榛原観光協会の各種イベントでのガイド ④記紀万葉をテーマとした万葉歌碑巡り ⑤日本風景街道の依頼による室生大野・三本松のガイド ガイド依頼の無い時は、研修や打ち合わせを行ったり、市外の初瀬街道を歩いたり、他地域のガイドとも交流しています。

事業報告書

事業名	弁財天 石楠花の丘
実施団体	弁財天 石楠花の丘
実施状況	<p>①【活動期間】 平成24年4月～10月 ・石楠花まつり（開園期間）4月27日～5月20日 ・イベント期間 5月3日・4日・5日・6日</p> <p>②【活動内容】 石楠花まつりを通して、地域のふれあいと地元活性化を目指す ・石楠花の丘の維持管理（除草、肥料散布、花ガラ摘み等） ・地元の手づくり品、野菜等の販売・模擬店・催し物の開催</p> <p>③【事業参加者数】 1,690人（入山者数のみ※優待券、イベント関係者等含まず） スタッフ延べ人数66人（イベント期間の人数）</p> <p>④【事業の周知方法】 ポスター掲示・チラシ（新聞折込み、設置） ・チラシ配布範囲（宇陀市内、美杉、曾爾、御杖、名張、伊賀上野、桜井他） ・ポスター掲示（近鉄南大阪線主要駅、近隣の道の駅他） 奈良テレビ・宇陀チャン他</p> <p>⑤【今後の事業展開】 石楠花まつりを通じて、いわゆる限界集落と呼ばれる地域の現状を体感していただき、より多くの観光客や地域の方々と交流を深めながら、マンパワーの不足をボランティアなどで協力いただけるような活路を見だし、地元の発展と地域活性に貢献したい。 また、毎年実施しているアンケート調査で様々なご意見を頂いているので、それらを活用して今後の事業実施につなげていきたい。</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>第8回目となった平成24年の石楠花まつりは、天候に恵まれず観光客入込み数は少なかったものの、雨ゆえに来られた方々と直接話しできる機会が増し、地域活性の取り組みに関心をもった方々から様々な意見を聞くことができた。また、周辺地域や地元出身者との世代間交流も深めることができた。</p>
特記事項	

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	344,545	宇陀市まちづくり活動応援補助金
会費	139,000	3,000円×13戸+100,000円（自治会より）
事業収入	1,035,000	入山料1,690人×500円＝845,000円 売店売上190,000円
寄付金	38,000	山林所有者より
自治会補填	112,722	自治会より
合 計	1,669,267	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	114,000	イベント参加者記念品
原材料費	193,147	石楠花の苗代 他
消耗品費	449,410	農薬、肥料、トレイ（器）
印刷製本費	691,950	チラシ・ポスター作成、のぼり代
光熱水費	28,000	ガス代
委託費	177,760	下草刈作業（シルバー人材センター）
手数料	15,000	仮設トイレ汲み取り料
合 計	1,669,267	

事業実施団体

名称	弁財天 石楠花の丘
所在地	宇陀市室生田口元上田口
設立の経緯・目的	かつて国道369号線は、生活道路として地域に活気をもたらせてきました。しかし、雪の弊害を避けるためにトンネルが開通したことに伴い、通行量が激減し、このままでは地域が取り残されてしまうという危機感から本会を立ち上げ、観光振興により地域に活気を取り戻すことを目的として、気候に適した石楠花を植栽しました。
主な活動内容	4月末 弁財天祭り 4月末～5月中旬 石楠花まつり ※ゴールデンウィーク中は石楠花イベントを開催し、特産品や手づくり作品等の販売を行い、地元の良さをアピールしています。

事業報告書

事業名	宇陀松山華小路 2012
実施団体	宇陀松山華小路実行委員会
実施状況	<p>1. 市内外PRキャラバン 6/10（土）奈良県立図書情報館、6/16（土）市内キャラバン①あきの蛍能、6/26（日）市内キャラバン②わくわく宇陀いち、市内キャラバン③道の駅大宇陀、市内キャラバン④大宇陀温泉あきののゆ、市内キャラバン⑤室生にま〜より祭を実施。各所でイベントのPRとデザイン画の募集を行い、18点の応募を集めた。郵送による応募作品5点とともに、8/25（土）に実施された宇陀松山夢街道町並みライトアップ会場にて、華小路総選挙と銘打ってデザイン画の人気投票を行った。同日、ダリアの花に触れる機会創出を目的としダリアアレンジメント教室も開催している。</p> <p>2. 宇陀松山華小路の実施 10月20日（土）～21日（日）の2日間をかけて、ダリアの花摘み→花ならべ→観賞→交流会→ミニコンサート→持ち帰り解禁、という流れのイベントを実施。2日間で約1300人の来訪者があった。また、桜井市の三輪座の要請により、フォト婚の会場として華小路の場所を提供した。</p> <p>3. ダリア染め教室の実施 ダリアに触れる機会の創出事業として、華小路のイベント当日に予定していたダリア染め教室が、講師の都合により3/16（土）にずれ込んだ。16名の参加者とともに、手提げ袋等の布をダリアの染料で染めた。 上記3つの行事を行う間に、実行委員会、生産者との協議、専門家との面談等を行った。</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>1. 市内外のPRキャラバンでは、顔をつきあわせた交流により、より効果の高いPRを行えただけでなく、市民の率直な感想を聞くことができた。予想以上に宇陀市の生産者が奈良の球根生産量日本一を支えているという事実を知らない市民が多く、今後も繰り返し周知が必要だと感じた。イベントについては、概ね好評を得た。</p> <p>2. 花摘みボランティア26名、花ならべボランティアについては数えきれない方が多くの方にご参加いただくことができた。原画のデザインをした人が花じゅうたんの製作に加わるケースが昨年よりも多かった。1日目夜にはボランティア・スタッフの交流会を実施。市内外から参加している人々の親睦を図ることができた。</p> <p>3. ダリア染め教室が別の日になったのは予想外だったが、ある程度の人集まり、充実した半日を過ごすことができた。染物の商品化、染め方の習得が今後の活動費捻出の足がかりになるという手ごたえを感じられた。 以上3つの活動を通じ、宇陀市の名産品に、ダリアの花と球根があることを周知し、ダリアに触れる機会を創出することで、多くの人にダリアの魅力を伝えることができた。</p>
特記事項	<p>花摘みの作業にて、素人が畑に入るにより畑を傷めてしまう事例が問題となっている。今後もこの事業を継続していくために生産者と協議し、双方協力して事態の改善を図ることが確認された。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	253,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
参加料	16,000	ダリアアレンジ教室参加費@2,000円×8名
	12,000	ダリア染め教室参加費@1,000円×12名
自己資金	4,506	
合 計	285,506	


【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	102,500	花卉組合謝礼、アレンジ講師謝礼、染め講師謝礼、ミニライブ謝礼、図案デザイン商品券
消耗品費	67,621	事務用品、軍手、ダリア染め道具 他
燃料費	2,000	ガソリン
印刷製本費	41,596	DM・チラシ印刷、コピー代
食料費	9,900	スタッフ賄い（講師含む）
役務費	34,589	事務局携帯電話通信料、チラシ発送、切手イベント保険、振込手数料
使用料	4,370	花卉加工料、駐車場
原材料費	14,500	ダリアアレンジ材料、染め材料 他
備品購入費	7,980	キャラバン用作業台
合 計	285,056	

事業実施団体

名称	宇陀松山華小路実行委員会
所在地	宇陀市大宇陀下出口2266番地
設立の経緯・目的	2009年春、宇陀がダリア球根生産の主要産地と知り、それを広く周知し、生産者を応援したいとの思いでイベントを企画運営するために実行委員会を立ち上げた。 当実行委員会は、歴史的町なみを地域の名産の花で飾るイベントを通じて、宇陀市の魅力発信、参加型のまちづくりの促進に努めることを目的として活動を行っている。
主な活動内容	①宇陀松山華小路の企画および実施に関する活動（デザイン募集、広報戦略、ダリアを使ったお土産の検討、イベントボランティアの募集、会場となる自治会との調整等） ②ダリアを使った学習機会の創出（ダリアアレンジメント教室、ダリア染め教室、ダリア学習会等）

事業報告書

事業名	ホタルの夕べ IN 高井 2012
実施団体	千年大志会
実施状況	<p>①実施日 平成24年6月23日 ②会場 宇陀市榛原高井 高井生活改善センター 内牧川及び矢谷川 ③対象者 小学生・園児及びその保護者、地域や市外・県外の方（自然を大切にする人） ④実施要点 川の環境把握及びホタルの観察 ⑤実施内容 川の生物の捕獲 捕獲生物から河川環境の現状を学ぶ ホタルの生態を学ぶ（日没まで参加者との交流イベントを実施） 日没後にホタルの観察（矢谷川周辺にて） ⑥参加者 約250人</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>①参加者が自然にふれあうことで自然の大切さを認識し、日頃から環境に配慮した行動を心がけるようになっていきます。 ②アンケートを実施したところ、「また参加したい」という内容が多く、「ホタルの保存養殖に参加したい」「環境を大切にする活動にボランティアとして参加したい」という内容も多くありました。また、「何処にもないホタルのイベントを長く続けて欲しい」という意見もありました。</p>
特記事項	<p>補助金をいただき事業を実施できたことはとても感謝しています。自主運営により今後も事業を継続するための課題も見えてきました。今まで以上に地元を巻き込みながら多くの人と協力することで事業を継続していきたいです。地域の発展、活力の創造に少しでも貢献できればと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	352,589	宇陀市まちづくり活動応援補助金
バザー売上	38,520	
寄付金	10,000	
合 計	401,109	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	30,000	講師謝金
消耗品費	95,420	事務用品・警棒・投光機・ハンドマイク・安全ロープ・食材他
印刷製本費	77,700	ポスター・チラシ作成
燃料費	7,280	ガス・発電機燃料
食料費	18,934	スタッフ昼食
保険料	15,000	イベント保険
委託料	128,925	舞台設置解体・警備
使用料・賃借料	25,650	公民館使用料・駐車場借上料
手数料	2,200	申請手数料
合 計	401,109	

事業実施団体

名称	千年大志会
所在地	宇陀市榛原高井457番地
設立の経緯・目的	<p>①経緯 過疎化とともに小学校が統廃合されて淋しくなる内牧に地域のつながりと元気を取り戻そうと千年大志会を結成しました。</p> <p>②目的 会員相互が内牧地域の良さを実感し、その良さを語り広め、さらには地域の活性化を図ることを目的とします。</p>
主な活動内容	<p>①佛隆寺桜まつり（平成18年から毎年継続）</p> <p>②赤埴川蛍の夕べ（平成18年から毎年継続）</p> <p>③佛隆寺彼岸花まつり（平成18年）</p> <p>④宇陀市じまん市、宇陀市子どもの森フェスティバル等に参加</p>

事業報告書

事業名	市民参加まちの資源を考えるモデル事業
実施団体	まちの資源を考える会「ecoうだ」
実施状況	<p>広報、啓発のチラシ作成と配布 5月～10月 啓発講演会の開催 10月9日（アンケート調査実施） 来場者54名 循環堆肥活用収穫祭 10月22日、3月26日 バイオマス利活用の生ごみ収集&堆肥化 準備期間 4月10日～10月23日 実施期間 10月29日～12月24日 堆肥化 10月29日～平成25年2月24日 （モデル事業参加 15軒 ※家庭ごとに回収）</p> <p>昨年は事業系生ゴミを活用して実施した循環型社会形成モデル事業を今年度は家庭生ゴミで実施しました。また、モデル事業への参加と循環型社会形成の啓発活動として循環野菜を活用した収穫祭を、自然災害に役立てられるアウトドアクッキング教室と合わせて2回開催しました。</p> <p>【事業実施の様子】</p> 
事業効果	<p>家庭生ゴミを活用した循環型社会の啓発を目的としたモデル事業は大きな反響があり、モデル事業参加者の希望もあって行政への会合へと進展しました。このことにより、3年目のモデル事業の実施形態が家庭生ゴミを活用した循環型社会形成へと変更されることになりました。また、公共的な施設を活用した循環野菜の提供など、「ecoうだ」の活動をアンテナショップ的に実施することができたことは大きな成果だと考えています。</p>
特記事項	<p>生ゴミに限らずモデル事業の対象が循環できるゴミ資源全体に広がる傾向が見られるようになったことは、モデル事業を継続することに意義があると考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	400,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
事業協賛金	4,901	
合 計	404,901	



【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	60,000	講師謝礼
旅費	3,000	視察旅費
印刷製本費	56,832	チラシ作成料
食料費	11,895	スタッフ昼食代
手数料	24,674	新聞折込料
委託料	195,000	生ゴミ堆肥化及び堆肥化
使用料	3,500	農林会館使用料
事業費	50,000	収穫体験、野菜代 他
合 計	404,901	

事業実施団体

名称	まちの資源を考える会「e c o うだ」
所在地	宇陀市榛原大貝332番地
設立の経緯・目的	宇陀市から、ひとに優しく暮らしやすい環境をみんなで築き、みんなで分かちあい、みんなで守り育てていくことを考え、世代を越えて行動する仲間が集まり、循環型社会を推進することを目的としてH22年7月に設立。
主な活動内容	①廃棄され、焼却されるゴミの分別の啓発活動 ②分別された資源の活用を地域の活性化と共用させる活動 ③バイオマスの活用から食育への貢献 ④3R運動の推進から循環型社会の形成についての啓発活動 ⑤ゴミの削減とゴミ焼却炉の延命への啓発活動 ⑥CO ₂ の発生抑制に取り組み地球温暖化防止へ協力

事業報告書

事業名	伊勢街道をテーマとした地域活性化事業
実施団体	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
実施状況	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成24年6月28日(木) 田口水分神社奉参会への聞き取り調査 2. 平成24年10月5日(金)・10月8日(月・祝) 田口獅子舞の稽古総仕上げと祭礼当日の撮影 3. 平成24年11月16日(金) メディアネット宇陀より映像資料納品 4. 平成24年11月30日(金)・12月6日(木) 伊勢街道バス&ハイク打ち合わせ 5. 平成24年12月22日(土) 伊勢街道バス&ハイク分科会会議 6. 平成25年1月13日(日) 伊勢街道バス&ハイクコース下見 7. 平成25年3月17日(日) 伊勢街道バス&ハイク実施 8. 平成25年3月28日(木) 案内板設置作業 <p>【事業実施の様子】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
事業効果	<p>室生田口の水分神社に伝わる「獅子舞」の記録映像と関連資料の作成の過程で、地域の方々に伊勢街道への関心が生まれ、ウォークへの参加や案内板の設置を共に行うなど、協働して事業を進めることができました。</p> <p>奈良県土木部との共催事業となった伊勢街道バス&ハイクでは、伊勢街道に加えて「記紀・万葉」をテーマとした宇陀の観光ルートを提案しました。参加者が定員を超えるなど高い関心をうかがい知ることができました。今後はマップ制作などの事業を実施したいと考えています。</p> <p>案内板の設置許可をお願いする中で、地域の方々から理解と協力が得られたことを喜んでいます。特に内牧地区では、今後「伊勢本街道」をテーマとした事業に地区をあげて取り組んでいただけることになりました。</p>
特記事項	<p>各事業とも次年度への課題を残して実施期間を終えました。</p> <p>①「獅子舞」の記録映像をどのように活かすか、②「記紀・万葉」をテーマとしたマップの制作、③内牧地区での「伊勢本街道」をテーマとした取り組みなど、3ヶ年事業の最終年度となる平成25年度の事業の中で取り組みたいと考えています。</p>

事業収支決算書

【収入】

科 目	金 額	内 訳
市補助金	400,000	宇陀市まちづくり活動応援補助金
自己資金	25,224	
参加料	17,000	ウォーク参加料@1,000×17人
合 計	442,224	

【支出】

科 目	金 額	内 訳
報償費	35,000	講師謝金・ガイドお礼
消耗品費	43,394	事務用品・案内板資材
食料費	12,580	スタッフ昼食・お茶代
	17,000	参加者弁当（参加料を充当）
通信運搬費	2,200	郵送料
手数料	24,000	案内看板設置手数料 @8,000×3箇所
委託料	178,500	案内板制作費
使用料・賃借料	6,500	会場使用料
事業費	123,050	バス借上料・イベント保険他
合 計	442,224	

事業実施団体

名称	紀伊半島交流会議 伊勢街道分科会
所在地	宇陀市大宇陀上新1925番地
設立の経緯・目的	紀伊半島交流会議は「吉野・熊野の霊場と参詣道」の世界遺産登録を見据えて、H16年3月末に歴史街道推進協議会の呼びかけで結成されました。その中で伊勢街道分科会は、伊勢本街道沿いの歴史や文化にふれ、そこに住む人々との交流を深めて、伊勢街道を軸としたネットワークの構築を目的として、宇陀市を中心に伊勢街道沿いで活動する人々に呼びかけて結成しました。
主な活動内容	主な活動は、古道を歩き、道標や常夜燈、宿場町等の歴史的資産の調査をし、その情報を発信するためにウォーキングイベントを開催しています。H19年からは風景街道「伊勢街道」連絡協議会において中心的な役割を担い、フォーラムの開催やマップの作成をはじめ、地域の団体と共に古道の復興や道標の再建など街道の歴史的資産の保全活動を進めています。